

資産運用レポート：ITバブル崩壊

1 はじめに

パソコンのハードディスクに、2000年2月9日に作成した、投資損益の一覧表が残っています（下図）。

通常、この手の一覧表は月末に作成するものです。日付が中途半端なのは、持株の値上がりにより有頂天になっていたからでしょう。

奇しくも、ITバブルが絶頂を迎えようとしていた局面でした。しかし、ここから株式市場は3年間にわたって下げ続け、投資家は塗炭の苦しみを味わうことになります。

もちろん当時は、そんなことを知る由もありません。「含み益もたっぶりあるし大丈夫。相場は直ぐに戻るだろうから、この下げは投資チャンス」と考え、下落相場を買い向かいました。

結果は言わずもがなでした。2000年から2002年にかけて、3年連続でマイナスのリターンとなり、ITバブルの含み益を吹き飛ばしてしまいます。

- 2000年 : -40.1%
- 2001年 : -5.1%
- 2002年 : -14.1%

今回の資産運用レポートでは、まだ投資家として駆け出しだった私が「バブル崩壊局面でいかに投資を行い、どのような教訓を得たのか」をお伝えします。

★投資損益（2000年2月9日）

コード	社名	株数	買付単価	買付金額	株価	評価額	損益額	損益率
1	6861 キーエンス	12	16,280	200,000	41,500	509,829	309,829	154.9%
2	8564 武富士	98	5,608	549,600	14,000	1,372,000	822,400	149.6%
3	8574 プロミス	132	2,992	395,000	8,080	1,066,560	671,560	170.0%
4	8577 日栄	19	10,270	200,000	2,980	58,035	-141,965	-71.0%
5	8595 ジャフコ	100	6,030	603,000	37,700	3,770,000	3,167,000	525.2%
6	8603 日興証券	900	690	621,200	1,678	1,510,200	889,000	143.1%
7	9074 日本石油輸送	650	406	263,700	180	117,000	-146,700	-55.6%
8	9629 PCA	100	3,000	300,000	8,500	850,000	550,000	183.3%
9	9677 日本ジャンボー	200	1,971	394,200	690	138,000	-256,200	-65.0%
10	9843 ニトリ	200	1,397	280,000	3,100	621,509	341,509	122.0%
11	9945 ブレナス	76	3,704	280,000	7,100	536,752	256,752	91.7%
12	9952 ドトール	80	3,871	309,700	8,320	665,600	355,900	114.9%
13	9989 サンドラッグ	160	2,310	369,600	6,490	1,038,400	668,800	181.0%
	合計			4,766,000		12,253,885	7,487,885	157.1%

注：株価は当時のもの。株式分割、株式併合を反映していない。以下同様